



Japan Platform for Migrant Workers
towards Responsible and Inclusive Society



JP-MIRAI最新動向（会員フォーラム報告）

1. 企業協働プログラム関連の各事業進捗報告
 2. 中小企業向け動画教材（トヨタ財団助成事業）
 3. ベトナムVJ-FERIワークショップ報告（日経報道、今後のFERIの進め方）
 4. 海外サプライチェーン管理支援
 5. 今後の予定
-

一般社団法人JP-MIRAI
2024年7月4日



0. 2024年JP-MIRAI 事務局体制及び事業計画

事務局体制 (13名体制)

事務局長： 岡田 務 (JICAから兼務)
 事務局長代行： 穴戸健一 (JICAから兼務)
 アドミ班： 高田順子
 企業協働班： 中尾洋三、佐藤智子、山田幸
 アシスト班： 八下田侑恵、渡邊麻紀子、飯部つかさ (JICA推進員)
 連携促進班： 佐藤純子 (JICA推進員)、白戸カンナ (JICA推進員)、椿原萌 (JICA推進員)

2024年5月1日
 JICA市ヶ谷ビル
 に移転

1. 外国人労働者との情報共有・共助

- 1-1. JP-MIRAIポータル (フレンズ含む)
- 1-2. JP-MIRAIセーフティ
- 1-3. JP-MIRAIアシスト
- 1-4. JP-MIRAIサポーター【新規】

脆弱な外国人労働者へのリーチ強化

- 1. ポータルアクセス100万人に向けて、外国人サポーター制度 (仮称) を構築し、外国人コミュニティーへの浸透を目指す。
- 2. JP-MIRAIポータル (アプリ) の改善を行うとともに、将来に向けた運用の在り方 (運営主体等) について検討を行う。

2. 『ビジネスと人権』における協働

- 2-1. 責任ある外国人労働者受入れ企業協働プログラム
- 2-2. 中小企業向け動画・教材【新規】
- 2-3. 海外サプライチェーン管理支援【新規】
- 2-4. 倫理的なリクルート (FFRI)【新規】

国際水準を目指す企業のニーズに応えたメニューの拡充と定着

- 1. 23年度の経験を踏まえた企業協働プログラムの拡大 (業務参考資料のLMS配信、外国人労働者へのツール強化、料金改定など)。
- 2. 中小企業向け教育プログラムの開発。
- 3. 国際機関、国際NGOと連携した新たな取り組みの展開・レベルアップ

3. 学びあいと内外への発信

- 3-1. 学びあい
- 3-2. JP-MIRAI現場アカデミー
- 3-3. 調査研究
- 3-4. 国内外への情報発信

様々なステークホルダーの学びや活動を促進。対外発信強化

- 1. JP-MIRAIの特性や強みを生かした勉強会、セミナー等の実施とコンテンツ化。
- 2. パートナーシップの増加に伴い、英文による発信を強化。SNSの整理。



1. 企業協働プログラムの各事業進捗報告（取り組み状況）

課題／
ご要望

2024年の改
善予定

参加法人（ブランドホルダー）

- ビジネスと人権や制度変更などの情報がタイムリーに欲しい
- 他社の取組み（導入事例・悩み）を知り・意見交換したい

関連法人（サプライヤー等）

- 参加する意義が理解いただけていない（社内での理解不足）。
- 外国人労働者にきちんとした説明が出来ていない。

外国人労働者等

- アプリ導入の方法が分かりづらい、登録が複雑。
- 外国人コミュニティでの認知度をアップすべき。

1. 企業・外国人向けコンテンツの強化／LMS導入

- ①「ビジネスと人権」や制度変更などの勉強会資料アーカイブ
- ②企業向け導入動画（導入の必要性）
- ③参加法人間の事例共有・意見交換（LMSコミュニティの形成）
- ④事務局や専門家からの発信

- ⑤外国人向け導入動画（多言語）

7月以降、9言語導入動画制作予定

2. JP-MIRAIセーフティの改善・アップグレード

- 受入れ環境評価・改善用ツールを追加（サプライヤーの改善をポジティブに評価する仕組みを加え、サプライヤー・労働者の導入・利用の心理的障壁を軽減）

改善対応中（7月中完了予定）

3. アプリ操作性改善

- パスワード簡素化、動線改善

4. JP-MIRAIサポーター

- 外国人への認知度アップ

後ほどご説明



【1. LMS（学習管理システム）導入】

目的：企業協働プログラムの利用促進のために必要な情報の提供や意見交換の場を確保する

方針：①市販の学習支援ソフト（So Easy）を利用し、万全なセキュリティ対策（Web版で動く）。

②参加法人あたり1アカウント、関連法人は、当面パイロットとして、XXアカウント（契約規模に応じ決定）を配布

コンテンツ（案）			アクセス権		備考
大項目	中項目	主な内容	参加法人	関連法人	
1. ビジネスと人権	基礎知識	資料、外部URLリンク	○	○	基礎資料や各種勉強会のアーカイブなどいつでもアクセスすることができます。
	指針・ガイドライン・制度	資料、外部URLリンク	○		
2. 外国人労働者の適正な受入れ	基礎知識	資料、動画	○	○	
	指針・ガイドライン・制度	資料、外部URLリンク	○		
3. 企業協働プログラム	プログラム導入促進資料	①参加企業向け導入動画	○		必要な資料の入手
		②関連法人向け導入動画	○	○	
		③外国人向け導入動画【多言語】	○	○	
	参加企業意見交換会	会議録画、配布資料	○		> 定期的な投稿によるアクセス増を目指す。
	アシスト相談室	相談員からの情報提供	○	○	
	事務局より	事務局からお知らせ	○		
4. コミュニティー	①サプライチェーン管理、②人権DD ③相談・救済、④倫理的リクルート／現場アカデミー ⑤海外サプライチェーン管理支援 など		○		自由な意見交換・事務局や専門家からの回答など（匿名投稿も可能にするか？）



プログラムの利用促進のために必要な情報提供や意見交換の場を提供します

- LMS「soeasy buddy」を利用。Web版、アプリ版のどちらでもアクセスできます。

1 事務局からの情報提供

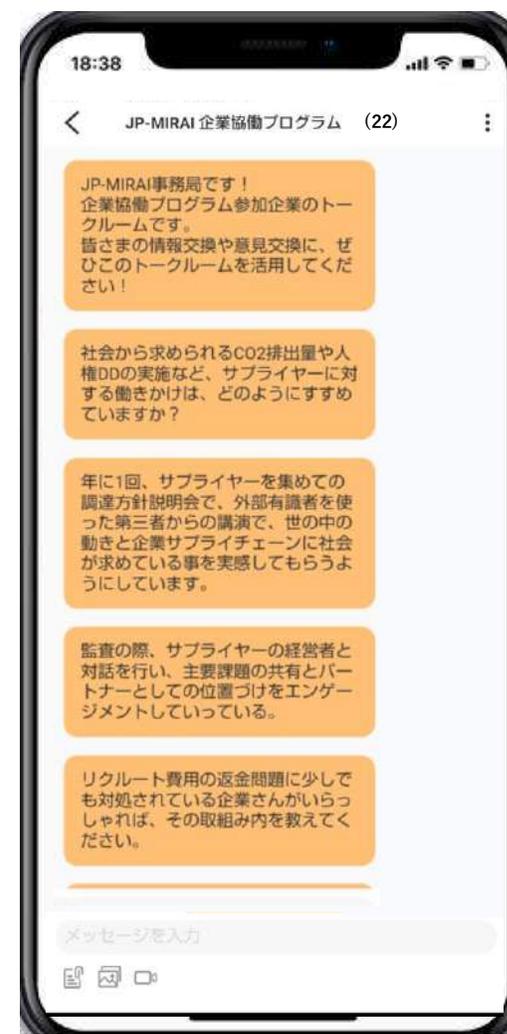
投稿>フォルダ
に整理

- 事務局から随時、情報提供します。
- 過去の投稿（記事・ファイル・動画）もフォルダに整理して保存するので、見たい時に簡単にアクセスできます。

2 参加企業のコミュニティー

トーク機能

- 企業協働プログラム参加企業のトークルームを作成。参加企業間の情報交換や学び合い・教え合いの場としてぜひご活用ください。
- テーマごとにルームを作成できます。



【1. 外国人向け動画】



BEBAS konsultasi
Konsultasi apa saja mengenai pekerjaan, kesehatan, kehidupan, sekolah anak-anak, prosedur administrasi

<説明内容>

- **日本での生活**： 日本語が勉強したい、友達も家族もいなくてさみしい、アパート契約方法がわからない？
- **書類手続き**： 子どもの学校、役所から書類の対応方法、日本での妊娠・出産
- **仕事の障害**： 有給を取りたいけど「だめ」って言われたら、上司から怒られたら、キャリアアップしたら

JP-MIRAIがあるから大丈夫！ アプリをダウンロードして登録してね

- **JP-MIRAI Portal**： 日本で暮らし、働く外国人に役立つ情報を紹介／留学、仕事、文化など、日本での生活に関する記事が集まっています
- **JP-MIRAI Friends**： 日本に住む人たちと友だちになり、交流したり・・・
- **JP-MIRAI Safety**： ご自身の権利が保護されているかをチェックすることもできます。
- **JP-MIRAI Assist**： さらに試してほしいのがこれ。プロに日本のこと何でも相談

さあ、チラシからQRコードを読み込もう

- 相談しても、職場にバレる心配はない。自由にご相談できます。

【1. JP-MIRAIセーフティの改善】



2024年7月：「JP-MIRAIアシスト」の周知と「何が人権侵害にあてはまるか」の啓蒙+必要時に誘導する役割を2分（9言語）

① 一般：アシスト入口の「3分で人権チェッ

- 回答不要→クリックで詳細説明へ
- 「職場」「暮らし」の人権侵害・法違反の例

あてはまれば「無料相談窓口」の利用を推奨



ぶん じんけん
3分でできる人権チェックリスト

あなたが日本で働き、暮らす環境に問題がないか、チェックしましょう。チェックリストは全部で19個です。3分くらいでチェックすることができます。

※この質問の著作権は、一般社団法人JP-MIRAI/弁護士法人Global HR Strategy GHRIS法律事務所/JICAにあります。無断で使用しないでください。

問題があると思ったら、「相談窓口」を使ってください

もし、問題があるかもしれないと思ったら、外国人向け相談窓口「JP-MIRAIアシスト」に相談できます。

電話・チャット・メールに対応しています。
人権に関する問題は、「JP-MIRAIアシスト」で相談しましょう。

全て無料です。秘密は守ります。相談したい人は、次のリンクから会員登録してください。

無料相談窓口はこちら

1例

45h

1ヶ月の残業時間が45時間を超えている。

② 企業向け：受入れ環境満足度アンケート（仮称・準備中）

- グループ企業/サプライヤー企業ごと外国人従業員の回答結果をフィードバック可→環境改善に活用 →翌年の結果＝評価可
- 早めのリスク発見・人権侵害が起こりにくい環境づくりを支援
- 「アシスト（無料相談窓口）に案内

アンケートへのご協力ありがとうございました。「返信」の前に、JP-MIRAIアシストの案内をご覧ください。

こんなことに困っていませんか？

<p>しごと</p> <p>残業</p> <p>支払い</p> <p>安全</p>	<p>くらし</p> <p>出産・子育て</p> <p>共同生活</p> <p>病気・けが</p>
---	---

JP-MIRAIアシストで相談できます。

秘密は守ります。

まずは3分であなたの状況をチェック



JP-MIRAI セーフティ【外国人従業員の職場環境への満足度調査】

- ○×△の3択22問（5分）
- 仕事内容
コミュニケーション
安心安全
福利厚生
- 自由記載
お礼、指摘、提案

回答送信前にアシスト入口案内

日本(にほん)の労働時間(ろうどうじかん)（働(はたら)く時間(じかん)）について

日本の労働時間（働く時間）について

その他報告事項

2. 中小企業向け動画教材（トヨタ財団助成事業）



特定課題

国内助成
プログラム

研究助成
プログラム

国際助成
プログラム

その他の
プログラム

トヨタNPOカレッジ
カイクツ

トヨタ財団
について

HOME > 特定課題 > 2023年度 > 外国人材の受け入れと日本社会

特定課題

外国人材の受け入れと日本社会

2023年度メニュー

- ▶ 先端技術と共創する新たな人間社会
- ▶ 外国人材の受け入れと日本社会
- ▶ イベント等のお知らせ
- ▶ プロジェクトイベント・シンポジウムレポート
- ▶ プロジェクト成果物レポート
- ▶ 財団からのお知らせ
- ▶ 財団イベント・シンポジウムレポート

2023年度選後評

D23-MG-0034 穴戸 健一（一般社団法人JP-MIRAI 事務局代行・理事）
外国人材の受入環境改善のための中小企業向け教材の開発と社会啓発

「（1）外国人材が能力を最大限発揮できる環境作り」に関わる提案で、労働法規に詳しい専門社員が配置されていないため、外国人材の人権保護に対する取組に十分な時間を割けない中小企業をターゲットにした教材づくりを目指した取り組みです。教材作成後には、模範的な企業がサプライチェーンや地域、業界、金融機関などを通じてこれを拡げていくことを考えており、担当者に十分な動機付けを行うなどの工夫を凝らしています。大学教員や弁護士、ILO専門官などとの連携も取れ、実行可能性が高いプロジェクトとして採択されました。他方で選考委員会では、既存の教材では何が不足しており、どのような内容になるのかについての詳細な説明が欲しかったとの意見も聞かれました。

※下記の一覧は、2024年3月21日現在の情報です。

助成番号	題目	代表者氏名	代表者所属 肩書	助成金額 (万円)
D23-MG-0017	高度人材の「地方」選択に関する意思決定過程に基づく、高度人材の流入促進及び受け入れ環境整備モデルの構築	結城 恵	群馬大学大学教育・学生支援機構 教授	950
D23-MG-0021	外食産業を事例とする求職外国人と求人事業者のミスマッチ構造に関する調査研究ならびにその解消のための事業構築	井上 泰弘	一般社団法人大阪外食産業 副会長	950
D23-MG-0030	豊田市発！産官学連携による在留外国人定住化に向けた多文化共生次世代育成	小林かおり	椋山女学園大学国際コミュニケーション学部 准教授	850
D23-MG-0034	外国人材の受入環境改善のための中小企業向け教材の開発と社会啓発	穴戸 健一	一般社団法人JP-MIRAI 事務局代行・理事	950
D23-MG-0036	生成系AIを活用した「やさしい日本語」化ツールおよびその教育現場における効果的活用モデルの開発	中村 孝一	NPO法人eboard 代表理事	900
D23-MG-0042	在日外国人経営者の経営実態の研究及び経営支援体制構築に向けてのモニター支援の実施・調査	渡貴 諒	一般社団法人日本産業イノベーション研究所 代表理事	900
合計		6件		



2. 中小企業向け動画教材（トヨタ財団助成事業）

<今後の方向性>（コアメンバー会合①(3/21)での議論）

1. 動画教材の作成

- 本事業では、**多くの業種をカバー**するように取り上げる内容や事例はバランスを取る。
- 抽象的な議論よりも、まず**プロトタイプ動画**を作成し、現物を見ながらの意見聴取が効率的である（7月下旬目標）。
- 利用するモチベーションが維持できるような内容とする。

2. 普及について

- **普及を最優先に考え、無料版を作成**。これに付加価値をつけるもの（業界特化版、LMS搭載版、パッケージ）から有償とする方向で検討。
- 関係者のご協力を頂き、様々なアプローチを試みる（右表ご参照）。そのために、早い段階から、中小企業団体、業界団体、自治体、会員中小企業、銀行（地銀・信用金庫）、全国社労士会、労働団体などにご説明し、意見交換を行う。

<コアメンバー>

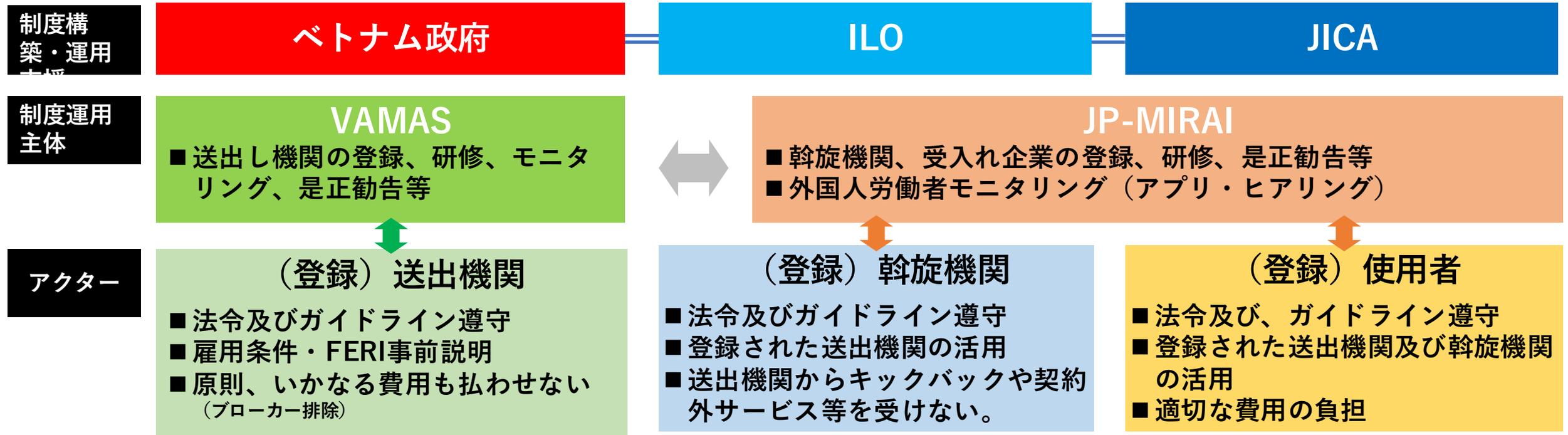
氏家 啓一	GCNJ 事務局次長
菅原 絵美	大阪経済法科大学国際学部 教授
田中 竜介	ILO駐日事務所 専門官
杉田 昌平	GHRIS 代表弁護士
万城目 正雄	東海大学 教授
<組織参加>	JITCO
穴戸 健一 中尾 洋三 佐藤 智子	一般社団法人JP-MIRAI

<4つのアプローチ>

ブランドホルダーからサプライヤーへの展開	ブランドホルダーが導入コストを一定程度負担すれば、普及が促進される可能性あり
地域単位のアプローチ	自治体の「選ばれる地域」との取組みとの連動（関心を示している自治体あり）
業界単位のアプローチ	関心を示している業界団体あり。事例のカスタマイズなどで連携可能性を追求。
金融機関からのアプローチ	金融機関の金融ガバナンスの観点から、可能性があるのでは？



< 説明資料 > VJ-FERIの仕組み



移民労働者のメリット

- 人権侵害のリスク減少（費用負担の最小化）。
- 労働条件やルールなどが明確化され、齟齬・トラブルがあった場合には、救済メカニズムを利用可能。

送出国機関の参加メリット

- ガイドラインを遵守し、公正で倫理的なリクルートを行う送出国機関としての評価があがり、日本側企業から選ばれ、顧客が増える。
- 質の高い移民労働者が集まり、トラブルが減少する。

斡旋機関の参加メリット

- 国際水準リクルートを行う斡旋機関として、使用者からの評価が高まり、顧客が増える。

使用者の参加メリット

- 国際水準のリクルートを行う組織としてのブランドホルダーや投資家からの社会的評価が高まる（RBAなどの基準に合致）。
- 優良な送出国機関及び斡旋機関の選定が可能となる。
- 外国人労働者に対し、自社の評価が高まり、優秀な人材がリクルート可能。適切な受入れにより、外国人労働者のローヤリティ向上、離職率の減少が期待できる。



4. 海外サプライチェーン管理支援

■海外サプライチェーン管理分科会

目的： 本邦の会員企業の海外におけるサプライチェーン（SC）管理を推進するために、海外のパートナーに関する情報や事例などを共有し、必要な取り組みについて議論を行い、各企業での取り組み促進に資することを目的として、2024年1月設置。

メンバー： 海外SC管理に具体的な取り組む予定、あるいは知見を有するJP-MIRAI会員（企業・専門家等）で構成す（原則クローズ）。

■活動状況

- 1月29日（月） 第1回分科会 [Webサイトに概要掲載済](#)
- 3月 企業アンケート（Issara Instituteのスキーム活用関係）
- 3月7日（金） IOM主催オンライン・セミナー： 「移住労働者×ビジネスと人権ーグローバルサプライチェーンにおける移住労働者の人権を尊重する事業活動」（仮称）
- 4月19日（金） IOM主催ワークショップ後援・参加：人権デューディリジェンス深掘り・実務者向け「移住労働者」を中心に据えた人権DD実践編」
- 4月26日（金） **第2回分科会**／Issara Instituteとの意見交換

■企業アンケート概要

第1回分科会後実施（5社回答）： 期待する①展開国/地域②サービス内容③導入時期/規模/予算④Issara Instituteへの質問
⇒第2回で確認： Issara展開国/地域、工場モニタリング/窓口設置/二次三次管理/人権リスク把握と啓発の方法と費用、など

■今後、Issara Instituteとの連携事業の具体化



5. 今後の予定

7月4日 (木) 1300～	JP-MIRAI会員フォーラム@市ヶ谷 (対面50名以上参加予定)
7月以降	人材の確保と定着 (連続勉強会)
8月9日 (金) 午後	中小企業向け動画教材ワークショップ@市ヶ谷 (プロトタイプ動画視聴後、意見交換)
9月5日 (木)	日尼人材フォーラム (JICA/尼政府共催) @市ヶ谷 (インドネシア労働大臣、小泉法務大臣、JICA理事長 等参加調整中。JP-MIRAIの取り組みも議論)
9月23日～27日	JP-MIRAI ・IOM幹事、GCNJ/クレアン協力 日本企業向けパッケージ (バンコク集合) (フォーラム一部参加+SC管理の現場等視察)
9月24日 (火)	責任あるビジネスと人権フォーラム (アジア・太平 洋) @バンコク AICHR-ASEANF主催サイドイベント (JP-MIRAI登壇枠あり)
10月	VJ-FERI日越合同運営委員会
11月～	VJ-FERI登録開始
11月上旬	RBA年次フォーラム@USA (先方招待検討中)
11月10日～16日	JP-MIRAI現場アカデミー (ネパール)
12月12日	会員フォーラム (予定)



**Japan Platform for Migrant Workers
towards Responsible and Inclusive Society**